



7743  
シード

SEED



～日本のシードから世界のSEEDへ～

会社概要

- **コンタクトレンズの大手企業**
  - 日本のコンタクトレンズ企業大手。1951年創業、1957年に設立し、日本初のソフトコンタクトレンズを発売。2004年に国産初の2weekレンズを発売、現在では1dayレンズを中心に展開
  - 国内一貫生産の強みを活かし、広範囲の品揃えでユーザーニーズに対応
  - 2019年3月期の売上高は294億円で、92%がコンタクトレンズ。営業利益は18.7億円。海外はアジア・欧州を中心に30ヶ国・地域で展開(2019年9月現在)
- **1day・2weekからハードコンタクトまで幅広く展開**
  - 従来型に加えて、純国産のPureシリーズ(1day、2week)、UVカット機能のあるFineシリーズ、サークルレンズ、カラーレンズ等を販売
  - 埼玉県鴻巣研究所に3つの生産棟があり、コンタクトレンズの生産能力は約4,700万枚/月 その他海外の協力工場でも生産

海外展開を積極化

- **アジア、ヨーロッパとも多様な商品展開を行う**
  - 海外売上高は2019年3月期は24.1億円実績、2021年3月期は50億円を計画
- **直近3年間のM&A・出資等**
  - 2018年4月に英国Contact Lens Precision Laboratories Ltdの株式を100%取得。特殊レンズ・カスタマイズレンズの専門メーカーで 50年以上に亘りコンタクトレンズを製造
  - 2019年3月に独Wöhlk社の株式を40%取得し、連結子会社化。コンタクトレンズの材料開発から、設計開発、製造・販売までの幅広い業務を手掛ける
  - 角膜矯正用コンタクトレンズ、オルソケラトロジーレンズの国内外における普及、拡販を進めるため、シード・東レ・ユニバーサルビューの3社で協力体制を構築
  - 将来の成長戦略として、直近3年間で30億円超をM&A(買収)等に出資
  - 今後も必要なM&A(買収)・出資を随時検討・実施

中期経営ビジョン

- **2021年3月期までの中期経営ビジョン**
  - 日本のシードから世界のSEEDへ
  - 生産規模の拡大と製品の多様化を実現し、売上高400億円を目指す土台作りの3年間の位置付け
  - 日本国内での安定した成長と同時に積極果敢な世界展開を実現
  - 規模の拡大と多品種少量生産を実現
  - 検査用・治療用・医療用等の新たな付加価値をコンタクトレンズに実現
  - 連結売上高350億円、営業利益23億円目標
- **中期的な取り組み**
  - 大学・研究機関との共同研究などの推進
  - 技術力の強化と次世代を担うスタッフの育成
  - 高機能・新素材レンズなど非コモディティ製品の開発
  - 医療用・検査用・治療用コンタクトレンズの商品化
  - シリコンレンズの国内承認、遠近両用CLの発売等

株主還元

- **株式分割と配当**
  - 2018年6月に株式の流動性を高めるために、1:3の株式分割
  - 株主の皆様へ安定的かつ適切な配当継続を実施
  - 2020年3月期は1株当たり12円の配当を予定
- **株主優待制度(A・B・Cの各コースを選択)**
  - Aコース:株主優待券。コンタクトレンズは優待特別価格、メガネは30%割引(上限1万円)
  - Bコース:当社ケア用品セット(希望小売価格約1万円相当)
  - Cコース:各ポイントに応じて希望の商品(名産品)を選択するか、アイメイト協会等へ寄付を選択  
100株～1,000株未満は保有3年未満で1,000ポイント、保有3年以上で3,000ポイント。1,000株～3,000株未満は保有3年未満で3,000ポイント、保有3年以上で5,000ポイント。3,000株以上は保有3年未満で4,000ポイント、保有3年以上で6,000ポイント進呈